

令和5年度「全国キャリア教育・就職ガイダンス」
「キャリア教育・就職支援の取組」事例紹介

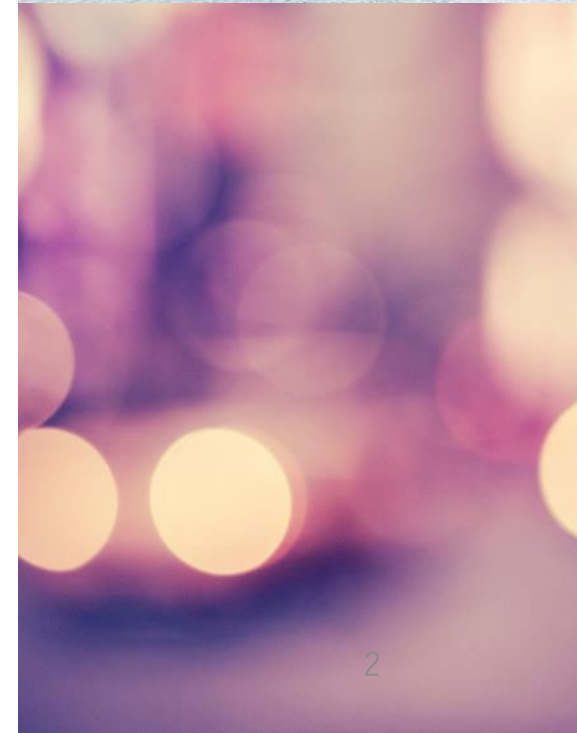
下関市立大学流「就職支援」 活気あふれるキャリアセンターづくり

下関市立大学

キャリア委員長
上野 恵美

agenda

1. introduction
2. 就職支援
3. 学生を集める取組み



introduction

下関市立大学

1956年下関商業短期大学 開学

1962年下関市立大学（経済学部 経済学科）開学

2007年公立大学法人下関市立大学設立



経済学部 経済学科 (195人)

国際商学科 (195人)

公共マネジメント学科 (60人)

在学生：1,954人 (2023年5月1日現在)

専任教員：64人 事務職員：47人

introduction

下関市立大学

バランスのとれた
教養豊かな高度職業人を
養成すること

地域社会及び国際社会の
発展に寄与すること

3つの理念と2つの目的

教育と研究の
一体性に基づく
新たな知の創造

大学とは、なによりもまず、学生と教員がともに手をたずさえて新たな知の創造をめざす共同組織です。このために教員には、研究能力にとどまらず、みずからの研究成果を教育に十分反映させることのできる教育力が求められます。そして学生もまた、教えるを受けるという受け身の姿勢にとどまることなく、みずから「学ぶ力」を高め、旺盛な研究心を発揮することが求められます。本学は、このような教育と研究の一体性を堅持し、教員の教育・研究能力と学生の「学ぶ力」とともに高めて、新たな知の創造に努めます。

東アジアを
中心に広く世界に
目を向けた教育と研究

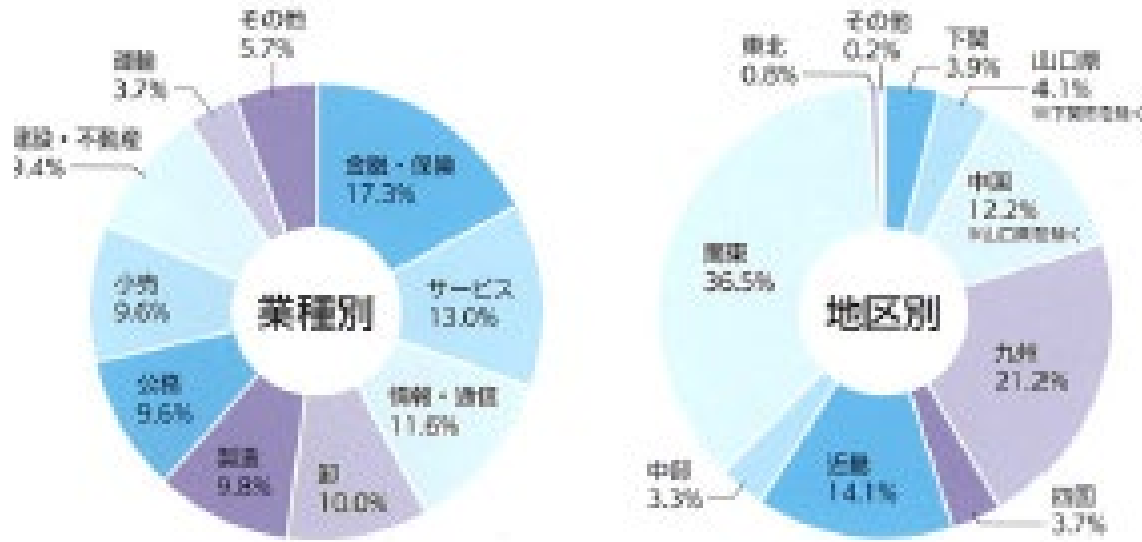
三方を海で囲まれた下関は、古来、朝鮮半島や大陸との人的、物的交流の結節点であり、ここを基点として同心円が拡大するように、多様な国際関係が形成されてきました。下関から東アジア、さらには世界へと目を向けることで、現在の国際関係がどのような構造を持っているのか、またそれがどのようにして作られてきたのかを理解することができのです。本学は、こうした地の利を活かし、国際社会における人々の交流と共生のあり方についての理解を深め、新たな展望を切りひらくことをめざします。

地域社会の
知的センターとして
地域に根ざした教育と研究

地方都市に設置された公立大学として、豊かな地域社会の創成に貢献することは本学の重要な責務です。このために、本学の教育と研究は深く地域に根ざしたものでなければならないと考えています。地域社会がかかえる諸問題を市民とともに考え、解決策を探ります。また他方では市民の生涯学習への対応などのために、大学の知的資源を積極的に開放し活用していきます。本学は、そのような「市民の大学」すなわち市民をも交えた知の交流と創造の場として、地域社会の知的センターとなることをめざします。

introduction

下関市立大学



2023年3月卒業者 就職決定率 98.8%

2025年3月卒業予定者

出身県別卒業見込者数

(2025年3月卒業見込者、学部留学生含む)

	人数	割合
中国・四国地方	243	51.5%
九州地方	158	33.5%
国内其他地方	67	14.2%
海外 (中国・ベトナム)	4	0.8%
総数	472	

-50人以上
-10～49人
-1～9人



introduction

キャリア教育

◆ キャリアデザインA

大学4年間をどのように過ごしたかという結果が、自分のキャリアに直接つながるため、充実した時間を過ごすためのヒントや刺激を提供することで、自分の将来に向けて、1年生として「いま何をすべきか」を考えます。現在の社会、経済、労働環境を理解し、それが今後どのように変化していくのかを予測した上で、自らのキャリアを主体的に考え、自ら切り拓いていくために必要な知識・態度・スキルを身につけます。

◆ キャリアデザインB

上場企業や地場企業、起業家、公務員まで様々な業界の社会で活躍している卒業生（ロールモデル）にお越しいただき、世の中にはどのような仕事があるのか、どのような仕事をしているのかを語っていただきます。その中で、「自分にとって働くとは何か」「世の中で求められている能力とは何か」を自ら考え、自分の強みや自分の弱みを自覚し、それを学生時代にどのように伸ばすのか、計画を立てることを目指します。

◆ キャリアデザインC

将来の予測ができにくい不確実な時代において、会社に入ることが目的の就「社」ではなく、どのような職業に就き、どのように働き、どのように生きていきたいのかを考えた上で、就「職」する力の開発を目的とします。世の中の業界や仕事を研究することで、視野を広げ、社会を俯瞰する中から働くことへの具体的なイメージを学び取り、自らのキャリア形成につなげます。

◆ 就業体験実習

1・2年生の早い時期から実社会での就業体験を通じて、働くことへの理解を深め、自分自身の適性を知ること、適切な職業選択ができるようになることを目指します。また、大学での学びと就業体験を統合することで、自ら専攻している学問の専門知識への学習意欲や研究に対する目的意識を高めることが目的です。

◆ インターンシップ

その仕事に就く能力が自らに備わっているかどうか、自らがその仕事で通用するかどうかを見極めることを目的に、自らの専攻を含む関心分野や将来のキャリアに関連した就業体験を行います。「事前学習」「職場での5日間(40時間)の中で3日以上就業体験」「事後学習」「報告会での発表」の全てを必須とし、職場では、現場の方に直接、学生を指導していただき、終了後には学生に対して職場での様子をフィードバックしていただきます。

◆ PBL (Project Based Learning)

地域社会や企業が持つ「教育力」を活用しながら、企業・自治体・地域社会が「実際に抱えている課題」に即して、「現場に学ぶ」視点を基本に、受講生自身が課題を考え抜く習慣や解決に導く力を養成することを主たる目的とした授業です。与えられた課題の中で、必要な情報を収集・編集し、相手に分かりやすくアウトプットすることや共同作業の中で個々の役割を全うするという、社会人として必要不可欠な技能を伸ばします。

introduction

キャリア教育



大学派遣インターンシップについて

本学では夏季休暇期間中、3年生対象にインターンシップを、全学年を対象に就業体験実習を行っています。

22年目となるインターンシップでは、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、一部をオンラインで実施するなどの対応を行いました。28企業・団体にて、計38名がインターンシップを経験しました。

大学主催のインターンシップでは、派遣前に学内事前学習を行います。インターンシップを行った後も報告書の作成指導・報告会での発表など、様々な面から学生の就業体験をフォローする体制を整えています。2008年度からは海外の事業体に学生を派遣する国際インターンシップもっており、質・量の両面での充実を図っています。

PBL (Project Based Learning) について

2011年度より、キャリア教育の一環としてPBLを実施しています。PBLとは、企業や行政などからいただく課題や問題について、学生が社会人から指導を受けながら、その課題や問題の解決に向けて取り組む科目です。PBLを通じて、学生はチームワーク構築の重要性を学び、コミュニケーション能力の向上などを目指すことができます。

12月には、各企業ご担当者様をお招きしての成果報告会を実施し、パワーポイントを使用した発表を行っています。成果報告会の内容を踏まえて1月末に活動報告をまとめます。

2015年度から、社会や産業界のグローバル化の進展に伴い、シンガポールでの実施や、国際食品商談会のサポートなど、国際PBLの実施を開始しました。

introduction

キャリアセンター

学生一人ひとりが「キャリア」を主体的に設計し、自信を持ってさまざまな進路に挑戦していけるよう、支援メニューを用意しています。



また、小規模大学だからこそ、学生と教職員の距離が近く、「将来何をしたいかわからない」という漠然とした悩みから、具体的な就職活動の相談まで、キャリアカウンセラーの資格を持ったスタッフが対応しています。

就職支援

主な就職支援メニュー

◆ 業界研究講座

学内において400社を超える企業・団体にお越しいただき「インターンシップフェア」「合同業界研究会」「個別企業説明会」を開催しています。学外で行われる「合同企業説明会」には、大学から会場までバスを利用した参加ツアーを実施しています。

◆ 就職ガイダンス

年4回のガイダンスを通じて、就職活動の環境や、就職活動へ挑む心構えなどの情報を提供します。また、基本的な履歴書の書き方や業界研究の方法など、就職活動を行う上で必要なノウハウを伝授します。

就職支援

主な就職支援メニュー

◆ 就活直前セミナー

就職活動の本番直前に、実際に企業等で働かれている方々と模擬面接を行うなど、就職活動に必要なスキルの総仕上げを行っています。

◆ 市大キャリアスタディ

身近な存在である本学卒業生を招き、世の中にはどんな仕事があり、業界がどのようなになっているか生きた情報を語ってもらいます。

就職支援

主な就職支援メニュー

◆ 就職基礎講座・就活ゼミ

自己分析を行い、応募書類の作成や面接のノウハウを伝授する講座です。また、リクルートスーツの着こなし講座、リクルートメイクアップ講座、就活マナー講座など、ラインナップ満載です！

◆ 内定者懇談会

就職活動を終えた4年生に、就職活動体験談を語ってもらいます。身近な先輩の体験談はこれから就職活動を始める学生にとっての貴重な情報となります。

学生を集める仕組み

工夫していること・意識していること



おわりに

みなさまと情報交換させていただきながら
学生が自ら進みたい方向に歩いていけるよう
「質の高い支援」を一緒に作りあげて
いきたいと考えております。

ご静聴ありがとうございました